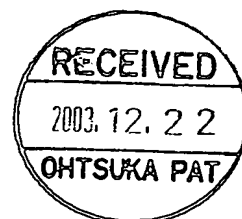


整理番号:MR12116 発送番号:449617 発送日:平成15年12月22日 1/E

拒絶査定

特許出願の番号	特願2001-048718
起案日	平成15年12月17日
特許庁審査官	△広▽島 明芳 9853 5H00
発明の名称	制御装置、制御装置の制御方法、プログラム、及び記憶媒体
特許出願人	キヤノン株式会社
代理人	大塚 康徳 (外 3名)



この出願については、平成15年 8月12日付け拒絶理由通知書に記載した理由によって、拒絶をすべきものである。

なお、意見書及び手続補正書の内容を検討したが、拒絶理由を覆すに足りる根拠が見いだせない。

備考

出願人は意見書において下記の点を指摘して、本願請求項1～5, 7～10に係る発明が引用文献1に記載された発明と同一ではないと主張している。

(1) 引用文献1には、全周画像を撮像することは開示されていない点

上記(1)について検討する。一般に複数の撮像装置の画像を合成して使用する場合に、撮影対象として全周画像を撮像することは広く行われている周知技術である(例えば特開平11-98342号公報等参照)から、引用文献1には、全周画像を撮像することは実質記載されている。

したがって、本願請求項1～5, 7～10に係る発明は引用文献1に記載された発明と同一であるから、出願人の主張は採用できない。

なお、出願人は本願請求項5, 8に係る発明について、「隣り合う撮像装置夫々に設定するカメラパラメータが示す設定値の差が大きくならないように」決定することは引用文献1には開示されていない点も主張しているが、引用文献1には、第62段落等の記載に注意すると、隣接する撮像装置間のカメラパラメータの差が大きくならないように決定することが記載されている。

上記はファイルに記録されている事項と相違ないことを認証する。

認証日 平成15年12月18日 経済産業事務官 栗田 健志

THIS PAGE BLANK (USPTO)

(19)



JAPANESE PATENT OFFICE

JPA11-098342

PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11) Publication number: 11098342 A

(43) Date of publication of application: 09.04.99

(51) Int. Cl.

H04N 1/387
G03B 37/04
G06T 1/00

(21) Application number: 09254438

(22) Date of filing: 19.09.97

(71) Applicant: TOSHIBA TEC CORP

(72) Inventor: MURAKAMI KAZUNORI

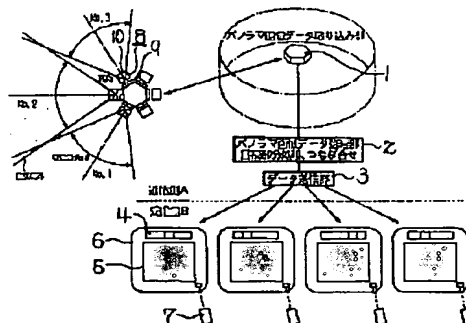
(54) METHOD AND DEVICE FOR DISPLAYING
PANORAMA PICTURE

(57) Abstract:

PROBLEM TO BE SOLVED: To allow a user to see a whole panorama picture and a partial highly precise picture by uni-directional transmission from a transmission side to a reception side.

SOLUTION: One panorama picture is prepared by horizontally connecting pictures from plural cameras 8 directed to a radial direction, and the panorama picture is transmitted to a reception side B. Then, panorama display for displaying the whole panorama picture for making it smaller by thinning out the longitudinal and lateral directions of the transmitted panorama picture and high precise display for displaying one part of the transmitted panorama picture with high precision are simultaneously operated.

COPYRIGHT: (C)1999,JPO



THIS PAGE BLANK (USPTO)

(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11) 特許出願公開番号

特開平11-98342

(43) 公開日 平成11年(1999) 4月 9日

(51) Int. Cl. ⁶

識別記号

F I

H04N 1/387

H04N 1/387

G03B 37/04

G03B 37/04

G06T 1/00

G06F 15/62

380

15/66

470

J

審査請求 未請求 請求項の数 4 O L (全6頁)

(21) 出願番号

特願平9-254438

(22) 出願日

平成9年(1997) 9月19日

(71) 出願人 000003562

東芝テック株式会社

東京都千代田区神田錦町1丁目1番地

(72) 発明者 村上 和則

静岡県三島市南町6番78号 株式会社テック

技術研究所内

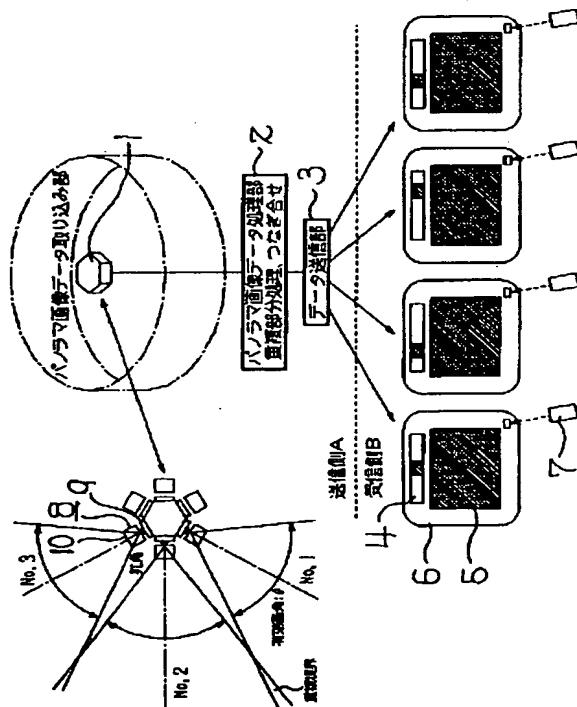
(74) 代理人 弁理士 柏木 明 (外1名)

(54) 【発明の名称】 パノラマ画像表示方法及びその装置

(57) 【要約】

【課題】 送信側から受信側への一方向電送により全体のパノラマ画像と部分的な高精細画像とを見ることができるようになることである。

【解決手段】 放射方向に向けられた複数台のカメラ8からの画像を横につなぎ合わせて1枚のパノラマ画像を作成し、このパノラマ画像を受信側Bに電送し、電送されたパノラマ画像の縦横を間引いて全体のパノラマ画像を小さく表示するパノラマ表示と電送されたパノラマ画像の一部を高精細に表示する高精細表示とを同時に行なわせるようにした。



【特許請求の範囲】

【請求項1】 放射方向に向けられた複数台のカメラからの画像を横につなぎ合わせて1枚のパノラマ画像を作成し、このパノラマ画像を受信側に電送し、電送されたパノラマ画像の縦横を間引いて全体のパノラマ画像を小さく表示するパノラマ表示と電送されたパノラマ画像の一部を高精細に表示する高精細表示とを同時に行なわせるようにしたことを特徴とするパノラマ画像表示方法。

【請求項2】 電送されたパノラマ画像の一部を高精細に表示する高精細表示画面の表示位置を受信側で任意に変更することができるようにしたことを特徴とする請求項1記載のパノラマ画像表示方法。

【請求項3】 放射方向に向けて配設された複数台のカメラによる撮像装置と、各カメラにより撮像された複数枚の画像を横につなぎ合わせて1枚のパノラマ画像を作成するパノラマ画像作成手段と、作成されたパノラマ画像を受信側に電送する電送手段と、電送されたパノラマ画像の縦横を間引いて全体のパノラマ画像を小さく表示するパノラマ画像表示手段と、電送されたパノラマ画像の一部を高精細に表示する高精細表示手段とよりなることを特徴とするパノラマ画像表示装置。

【請求項4】 放射方向に向けて配設された複数台のカメラによる撮像装置と、各カメラにより撮像された複数枚の画像を横につなぎ合わせて1枚のパノラマ画像を作成するパノラマ画像作成手段と、作成されたパノラマ画像を受信側に電送する電送手段と、電送されたパノラマ画像の縦横を間引いて全体のパノラマ画像を小さく表示するパノラマ画像表示手段と、電送されたパノラマ画像の一部を高精細に表示する高精細表示手段と、電送されたパノラマ画像の一部を高精細に表示する高精細表示画面の任意位置へのチューニングを行なうチューニング手段とよりなることを特徴とするパノラマ画像表示装置。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】本発明は、複数台のカメラで撮影した複数枚の画像をつなぎ合わせて1枚のパノラマ画像を作成して表示するパノラマ画像表示方法及びその装置に関する。

【0002】

【従来の技術】従来、撮影位置の周囲360度のパノラマ画像を得る手段として特開昭55-79433号公報にその一例が開示されている。この技術においては、フィルムに露光している間に、半径方向に設けた投光スリットを穿設した回路盤を回動させるとともに、投光スリットに光を投光するレンズ筒をも回動させることにより、周囲360度を1枚の写真に表現することを目的に次のような構成が採用されている。すなわち、投光角度を90度変更するミラーとレンズとを備えたレンズ筒と、フィルムに平行に対向して半径方向に投光スリットを穿設した回転盤とが設けられており、この両者を一緒

に回転させてフィルム上に周囲を撮影する構成となっている。フィルム面上にはレンズ部の基点距離と投光スリット幅とで決る極めて幅狭い画角の像が連続的に並べられ、被写体の水平線は光軸から離れるほど放物線状に湾曲されて表現される。そのため、平面に無理矢理360度の円周画像を写し込むため、画像の湾曲が非常に大きく、実際に人間が知覚できる周囲画像とは大きくかけ離れた認識の難しい平面画像となっている。

【0003】また、別の手段としては、特開平9-55925号公報に記載されたものがある。これに記載された技術は、「異なる視野を撮像し、その画像を電気信号に変換する複数の撮像装置からなる撮像手段と、該撮像手段の出力画像情報を複数のユーザーに分配する画像情報分配手段と、該画像情報分配手段の出力画像情報を表示する表示手段とを具備する画像システムにおいて、前記撮像手段の出力画像情報の内から、希望する位置の画像を各ユーザが選択する画像選択手段と、該画像選択手段の出力に基づいて選択位置の画像を前記画像情報分配手段に出力する手段とを具備する画像システム」であり、双方向通信で送信画像を受像側の希望通りに送信すること、受像機は通常の受像機であることを前提としている。

【0004】

【発明が解決しようとする課題】特開昭55-79433号公報に記載された技術は、レンズとスリットとを回転させて像を取り込むので、

・回転スピードに応じた静止画像しか対応できない。

【0005】・フィルムの中心を回転中心とする画像は周辺ほど像が歪み、人間の視覚上、画像に対する理解が難しい。

【0006】・1枚のフィルムに無理矢理に360度全周の画像を取り込んでいるので、部分拡大が困難である。

【0007】と云う問題がある。

【0008】また、特開平9-55925号公報に記載された技術では、動画を電送することができるが、送信側と受信側とが双方向通信できることが条件であり、また、受信側の希望する位置の画像を電送できるように受信側から送られてきた表示位置信号に応じた画像を個別に送信してやらねばならない。すなわち、受信側の数だけの別々の画像データを個々に送信する必要があり、送信側の負担が大きいと云う問題がある。

【0009】

【課題を解決するための手段】請求項1記載の発明は、放射方向に向けられた複数台のカメラからの画像を横につなぎ合わせて1枚のパノラマ画像を作成し、このパノラマ画像を受信側に電送し、電送されたパノラマ画像の縦横を間引いて全体のパノラマ画像を小さく表示するパノラマ表示と電送されたパノラマ画像の一部を高精細に表示する高精細表示とを同時に行なわせるようにしたも

のである。従って、送信側は複数台のカメラから取り込んだ画像をリアルタイムでつなぎ合わせて受信側へ一方的に電送するため、通常のテレビジョンと同様なシステムで画像の電送を行なうことができ、しかも、パノラマ画像により全体の状態を認識することができるとともに高精細表示により必要とする部分の高精細な画像をも見ることができる。

【0010】請求項2記載の発明は、電送されたパノラマ画像の一部を高精細に表示する高精細表示画面の表示位置を受信側で任意に変更することができるようにしたものである。従って、パノラマ画像中の任意位置の高精細画像を簡単に選択して表示させることができる。

【0011】請求項3記載の発明は、放射方向に向けて配設された複数台のカメラによる撮像装置と、各カメラにより撮像された複数枚の画像を横につなぎ合わせて1枚のパノラマ画像を作成するパノラマ画像作成手段と、作成されたパノラマ画像を受信側に電送する電送手段と、電送されたパノラマ画像の縦横を間引いて全体のパノラマ画像を小さく表示するパノラマ画像表示手段と、電送されたパノラマ画像の一部を高精細に表示する高精細表示手段とよりなる。従って、パノラマ画像により全体の状態を認識することができるとともに高精細表示により必要とする部分の高精細な画像をも見ることができる。

【0012】請求項4記載の発明は、放射方向に向けて配設された複数台のカメラによる撮像装置と、各カメラにより撮像された複数枚の画像を横につなぎ合わせて1枚のパノラマ画像を作成するパノラマ画像作成手段と、作成されたパノラマ画像を受信側に電送する電送手段と、電送されたパノラマ画像の縦横を間引いて全体のパノラマ画像を小さく表示するパノラマ画像表示手段と、電送されたパノラマ画像の一部を高精細に表示する高精細表示画面の任意位置へのチューニングを行なうチューニング手段とよりなる。従って、パノラマ画像により全体の状態を認識することができるとともに高精細表示により必要とする部分の高精細な画像をも見ることができるとともにパノラマ画像中の任意位置の高精細画像を簡単に選択して表示させることができる。

【0013】

【発明の実施の形態】本発明の一実施の形態を図面に基いて説明する。まず、図1に全体構成が記載されている。すなわち、基本的に送信側Aと受信側Bとがある。そして、前記送信側Aは撮像装置としてのパノラマ画像データ取り込み部1とパノラマ画像作成手段となるパノラマ画像データ処理部2と電送手段となるデータ送信部3とよりなる。前記受信側Bは、パノラマ画像表示手段4と高精細表示手段5とを備えた複数台の専用表示装置6を備えており、それぞれの専用表示装置6毎に前記高精細表示手段5の表示内容を変更するチューニング手段

7が設けられている。

【0014】しかし、前記パノラマ画像データ取り込み部1は、水平面内で放射状に配列されたn台のカメラ8により構成されている。これらのカメラ8は、CCDエリアセンサ9と結像レンズ10とよりなるものであり、図1に示した状態においては、6台のカメラ8を用いているため、 $n=6$ である。そのため、それぞれのカメラ8の配置角度 θ_0 は、 $\theta_0=360^\circ/n=60^\circ$ である。そして、各結像レンズ10の有効画角 θ は、

$$\theta = \theta_0 + \alpha \quad (\alpha \geq 0)$$

の関係にある。ここで、 $\alpha=0$ とすると、無限遠の画像に対し、隣同士の画像のつなぎ目は重複せずに接することになる。しかしながら、有限距離においては死角が発生することになるので、 $\alpha>0$ に設定する必要がある。この場合、死角が発生しない限界円があり、この限界円の外側の画像は、隣同士で重複することになる。画像として取り込む部分はこの限界円より遠い領域に設定されるため、各カメラ8から取り込まれる隣同士の画像には、それぞれ重複部分が存在する。この重複部分は、隣り合う画像の合成（つなぎ合わせ）を行なう場合の手がかりになるものである。

【0015】各カメラ8による画像の取り込みは、同一の基準信号で全てのカメラ8が同時に駆動されて行なわれる。図5に示す動作においては、「n台のカメラは同一仕様の結像レンズとエリアセンサを持ち、各カメラは同一平面内に等角度に配置し、隣接するカメラ同士で、ある一定距離以上離れた画像に対し、重複して画像が取り込めるよう配置する」と云う処理がなされた後、「n台のカメラの画像取り込みタイミングを合わせる」と云う処理がなされる。そして、各カメラ8のCCDエリアセンサ9は、図2(a)に示されているように、縦に1、横にmの解像度を持つものであり、重複部分は Δ で表される。本実施の形態で対象としているのは、動パノラマ画像であるので、リアルタイムで取り込んだ画像をつなぎ合わせて表示する必要がある。図2(a)に示した状態は、各カメラ8のCCDエリアセンサ9の画像11を直線状に連続させて表示したものである。実際には、上下、左右及び回転方向の各配置誤差が発生する可能性があるが、ここではこのような誤差が調整されているものとして表示されている。このようにして取り込まれた画像データは、送信側Aのパノラマ画像データ処理部2でつなぎ合わされて360度のパノラマ画像12が作成される。すなわち、このパノラマ画像12は、合成パノラマ画像データであり、縦に1、横に $n \times (m - \Delta)$ となり、 $n \cdot \Delta \times 1$ のデータは重複するために削除されている。図5に示す動作においては、「重複する画像部分の1つを削除し、合成パノラマ画像データを作る」と云う処理がなされる。

【0016】このように作成されたパノラマ画像12（合成パノラマ画像データ）は、有線又は無線でデータ

送信部3から受信側Bに電送される。図5に示す動作においては、「パノラマ画像を電送する」という処理がなされる。

【0017】そして、受信側Bでは、図5に示す「パノラマ画像を受信する」という処理がなされ、かつ、電送されたパノラマ画像12の縦横を間引いて全体のパノラマ画像12を小さく表示するパノラマ画像表示手段4と、電送されたパノラマ画像12の一部を高精細に表示する高精細表示手段5とに画像を表示する。すなわち、図5に示す動作においては、「パノラマ表示画面」には縦横の画像データを $1/x$ に間引いた粗い画像データを表示する」という処理と、「観察者はパノラマ表示画面」から拡大して見たい部分をチューニング装置で位置決めし、「高精細表示画面」へ表示する」という処理とを実行する。ここで、 x は、任意の正の整数である。

【0018】パノラマ画像表示手段4での表示は、図3(a)に示す縦に1、横に $n \times (m - \Delta)$ のパノラマ画像12(合成パノラマ画像データ)を、図3(b)に示すように、縦横に $1/x$ 倍した画像データ、すなわち、縦に $1/x$ 、横に $n \times (m - \Delta) / x$ なる画像データに変換してパノラマ画像表示手段4により表示する。これは合成パノラマ画像データを間引きして粗い状態で小さく表示しているものであり、パノラマ画像表示手段4が表示面積の小さい表示装置であっても全体のパノラマ画像12を表示することができるものである。図3(b)に示す状態は、 $n = x$ である。

【0019】また、全体のパノラマ画像12の内、詳細に見たい部分もあるため、パノラマ画像表示手段4で表示している画像の一部は、図3(c)に示すように、高精細表示手段5にカメラ8の解像度に相当する細密度で表示される。この高精細表示画面は、電送されたパノラマ画像12のデータである合成パノラマ画像データの垂直同期信号と観察者が操作するチューニング手段7からのチューニング信号に応じ、任意の一定数のデータが捨てられ、そこから横に m 個のデータを表示し、さらに、残りを捨てると云うものである。そのため、観察者は、パノラマ画像表示手段4で全体のパノラマ画像12の状態を認識し、チューニング手段7で全体画像のどの位置を高精細で観察したいかを選択し、高精細表示手段5に表示するものである。この場合の合成パノラマ画像データは、リアルタイムで送信側Aから電送されてくるので、受信側Bでは電送されたデータの処理のみを行なうだけで良く、これにより、送信側Aから受信側Bへの一方向電送のみで任意位置の高精細画像を観察することができる。このチューニングの際に、高精細表示手段5で表示されている画像位置がパノラマ画像表示手段4のどの位置であるかを表示するように、パノラマ画像表示手段4の画面の輝度を部分的に変えたり、スポットを移動させるようにして表示させても良いし、或いは、高精細表示手段5で表示している部分が常にパノラマ画像表示手段

4の中心に位置するように高精細表示手段5による表示位置の変更に伴ってパノラマ画像表示手段4の画像を左右に移動させるようにしても良いものである。

【0020】なお、図4(a)、図4(b)に示すものは、表示装置13の例であり、図4(a)は、単体表示装置14であり、パノラマ画像表示手段4と高精細表示手段5とが一つの筐体15に組み込まれているものである。また、その筐体15の右下位置にはチューニング手段7からの信号を受ける受信部16が設けられている。次に、図4(b)に示すものは、分離表示装置17であり、パノラマ画像表示手段4と高精細表示手段5とが別個に形成され、高精細表示手段5にチューニング手段7からの信号を受ける受信部16が設けられている。

【0021】しかして、このような装置の利用分野に関して補足説明すると、360度全周のパノラマ画像12はスポーツ中継などへの応用展開が考えられる。現状では、テレビ局が作った同一の映像をすべての人が受信して鑑賞している。テレビ局では複数台のカメラを用いて撮影し、適宜、場面を切り替えているものの、すべての人が同一画面を見ていることになる。ところが、本実施の形態によれば、受信者は全体のパノラマ画像12の中から、自分が見たい部分を個別に選択してその部分を高精細で見ることが出来るものである。また、送信された画像を録画しておくことにより、送信されたスポーツ番組が一つであっても、見る度に異なる角度から見る事が出来る。

【0022】

【発明の効果】請求項1記載の発明は、放射方向に向けられた複数台のカメラからの画像を横につなぎ合わせて1枚のパノラマ画像を作成し、このパノラマ画像を受信側に電送し、電送されたパノラマ画像の縦横を間引いて全体のパノラマ画像を小さく表示するパノラマ表示と電送されたパノラマ画像の一部を高精細に表示する高精細表示とを同時に行なわせるようにしたので、送信側は複数台のカメラから取り込んだ画像をリアルタイムでつなぎ合わせて受信側へ一方的に電送するため、通常のテレビジョンと同様なシステムで画像の電送を行なうことができ、しかも、パノラマ画像により全体の状態を認識することができるとともに高精細表示により必要とする部分の高精細な画像をも見ることができると云う効果を有する。

【0023】請求項2記載の発明は、電送されたパノラマ画像の一部を高精細に表示する高精細表示画面の表示位置を受信側で任意に変更することができるようにしたので、パノラマ画像中の任意位置の高精細画像を簡単に選択して表示させることができると云う効果を有する。

【0024】請求項3記載の発明は、放射方向に向けて配設された複数台のカメラによる撮像装置と、各カメラにより撮像された複数枚の画像を横につなぎ合わせて1枚のパノラマ画像を作成するパノラマ画像作成手段と、

作成されたパノラマ画像を受信側に電送する電送手段と、電送されたパノラマ画像の縦横を間引いて全体のパノラマ画像を小さく表示するパノラマ画像表示手段と、電送されたパノラマ画像の一部を高精細に表示する高精細表示手段とよりなるので、パノラマ画像により全体の状態を認識することができるとともに高精細表示により必要とする部分の高精細な画像をも見ることができると云う効果を有する。

【0025】請求項4記載の発明は、放射方向に向けて配設された複数台のカメラによる撮像装置と、各カメラにより撮像された複数枚の画像を横につなぎ合わせて1枚のパノラマ画像を作成するパノラマ画像作成手段と、作成されたパノラマ画像を受信側に電送する電送手段と、電送されたパノラマ画像の縦横を間引いて全体のパノラマ画像を小さく表示するパノラマ画像表示手段と、電送されたパノラマ画像の一部を高精細に表示する高精細表示手段と、電送されたパノラマ画像の一部を高精細に表示する高精細表示画面の任意位置へのチューニングを行なうチューニング手段とよりなるので、パノラマ画像により全体の状態を認識することができるとともに高精細表示により必要とする部分の高精細な画像をも見ることができるとともにパノラマ画像中の任意位置の高精細画像を簡単に選択して表示させることができると云う効果を有する。

【図面の簡単な説明】

【図1】本発明の一実施の形態を示す各部の配置図であ

る。

【図2】複数台のカメラで撮影した画像と合成された画像とを示すもので、(a)は撮影された画像をそのまま横に連設した状態の平面図、(b)は重複部分を削除してパノラマ画像として合成した合成パノラマ画像データの平面図である。

【図3】合成パノラマ画像データに基づくパノラマ画像表示手段と高精細表示手段との大きさの関係を示すもので、(a)は合成パノラマ画像データの平面図、(b)はパノラマ画像の縦横を間引いて全体のパノラマ画像を小さく表示する画像データの平面図、(c)は全体のパノラマ画像の一部を高精細に表示している画像データの平面図である。

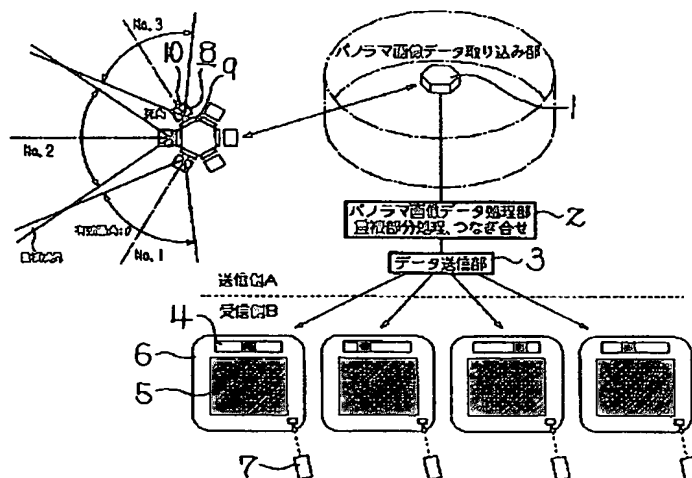
【図4】表示装置の正面図であり、(a)は単体表示装置の正面図、(b)は分離表示手段の正面図である。

【図5】全体の動作を示すフローチャートである。

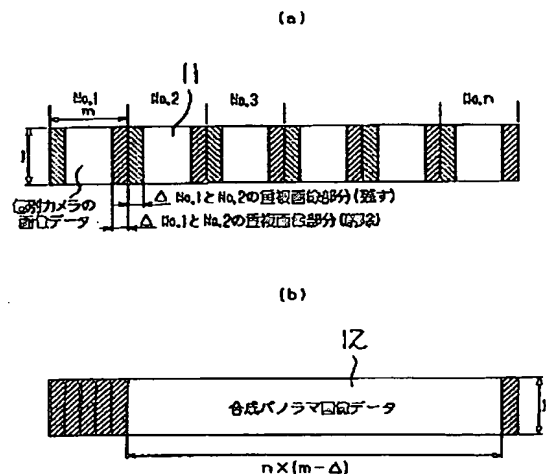
【符号の説明】

- | | |
|----|------------|
| 1 | 撮像装置 |
| 2 | パノラマ画像作成手段 |
| 3 | 電送手段 |
| 4 | パノラマ画像表示手段 |
| 5 | 高精細表示手段 |
| 8 | カメラ |
| 12 | パノラマ画像 |
| B | 受信側 |

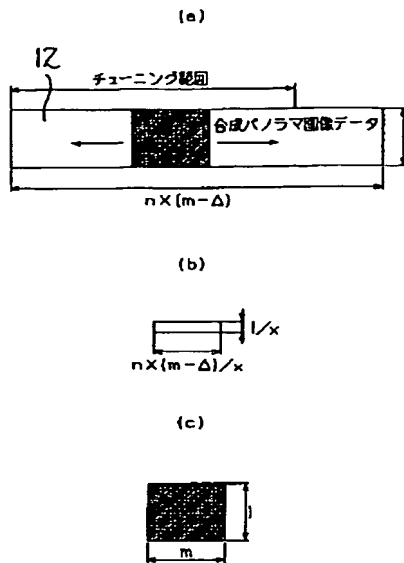
【図1】



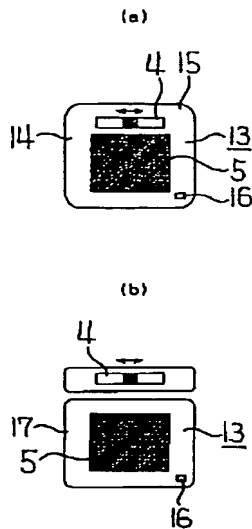
【図2】



【図 3】



【図 4】



【図 5】

